

1日10分のeラーニングが子どもの学力を大きく上げた ー知識習得に人の関与が必須とまらない時代の到来ー

本シンポジウムでは、革新的データ収集技術を活用した1日10分のeラーニング（マイクロステップ・スタディ：MSS）の導入と教師の支援が、大阪市西成区と香川県高松市等の小学生の「自分から勉強しよう」という意欲を大きく向上させ、さらに全国学習状況調査と大阪府の悉皆テストのテスト得点を、確実に（有意に）上昇させた実践の成果を紹介し、日本の教育DXが、子どもや教師等に明確なメリットを提供できる新たな段階に入った事実を共有する。MSSを導入することで、意欲が低い子どもほど意欲が大きく高まる結果がほぼ確実に得られ、科学的にアピールできる段階になった他、総合的英語能力試験（大学生：GTEC、高校生：英検）のスコアを効率的に高める結果が、国内の複数のトップジャーナルに掲載された。これらの事実は、日本の教育DXが、GIGA端末の配布を経て、次の段階（デジタルイゼーション）に入ったことを意味している。本シンポジウムでは、AIの活用も含め、教育DXの不確定な未踏フェーズにおいて、確かな足場を示すことを目指す。

講師・パネリスト

11月21日（土）
13:30～16:00

谷合 俊一 氏

文部科学省初等中等教育局・教育DX推進室長
学校教育・社会教育・高等教育など30年以上の
行政経験を生かし、日本の教育DXを牽引。

寺澤 孝文 氏

岡山大学学術研究院教育学域・教授
記憶と認識の理論とビッグデータ研究の第一人者。
スケジューリング技術を基盤とするマイクロ
ステップ・スタディを開発。

山野 則子 氏

大阪公立大学・名誉教授
イノベーションアカデミー 共創研究院・特任教授
我が国におけるスクールソーシャルワークの
第一人者。課題のある地域の支援にも大変詳しい。

田中 義人 氏

鳴門教育大学大学院学校教育研究科・准教授
香川県で校長の他要職を歴任、「学校と家庭・
地域の連携」に関する研究と教育実践を展開。

古閑 龍太郎 氏

大阪市立田辺中学校・校長
大阪市教育委員会事務局、大阪市総合教育センター
学力向上支援・調査分析担当課長を経て現職。

今岡 誠司 氏

八尾市立高美南小学校・校長
八尾市教育委員会、八尾市の小学校において、
多様な児童生徒に向き合う教育を実践。

スケジュール

- 13:30～ 開会の辞・趣旨説明：
水野 治久（大阪教育大学副学長）
心理学、特に学校心理学を専門とし、
教育関係者と幅広いネットワークを有す。
- 13:35～ 基調講演：谷合俊一
「教育DXに向けた文部科学省の取組と今後の展望」
- 13:55～ 講演1：寺澤孝文
「なぜ1日10分の見流す学習が学力・意欲を
上げたのか：新しい記憶理論と技術革新」
- 14:25～ 講演2：山野則子
「子どもの見えない課題発見から支援や地域に
繋ぐシステム～大阪こどもの貧困調査から～」
- 14:45～ 休憩
- 14:55～ パネルディスカッション：
「教育DXの新たな展開と地域・広域連携の在り方」
（質疑応答含む）
- 15:55～ 閉会の辞：「教育に変化を体感できるScienceをもっと」
佐藤 法仁（岡山大学副理事・副学長）
上級URA、次世代研究院院長、異分野融合
教育研究機構機構長など要職を務める。

申込方法

以下のURLもしくは左下のQRコードより、
申込みフォームにアクセスしてください。
（対面参加）<https://forms.gle/okFFFH7Mq33zbKH26>
（Zoom参加）<https://forms.gle/EBiQDU2bPsJjvnnvB7>

対象・定員等

教育委員会関係者・学校関係者・学校支援人材
各種教育支援団体・教育関連企業・学生・一般の方
（参加形式：対面・Zoom併用 対面定員：60名）

会場・アクセス

大阪教育大学 天王寺キャンパス
みらい教育共創館 3階

JR天王寺駅、地下鉄天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅下車、約650m
JR寺田町駅下車、約400m



【お問い合わせ先】

大阪教育大学 みらい教育共創館事務局 Mail: mirai@bur.osaka-kyoiku.ac.jp



（対面参加） （zoom参加）

本シンポジウムは、科研費 JP25H00568
（研究代表者：寺澤孝文）の助成を受け開催されています。